

令和2年度 第1回 会津図書館協議会 議事録

日時：令和2年10月29日（木）13：30～15：00

場所：生涯学習総合センター3階 研修室5・6

出席者：委員 9名出席

事務局 6名出席（生涯学習総合センター所長、会津図書館長、副主幹2名、主任主査、主任主事）

1 あいさつ

会津図書館長

会津図書館協議会委員長

2 新委員紹介

3 議事（委員長を議長とし、進行）

（1）図書館要覧及び統計資料について

<質疑応答・意見等>

委員：要覧によると（会津図書館は）明治37年の開館で、とても歴史のある図書館。

図書館がいつもそこに、小さいときからあるというのは昔の人のおかげで、とてもありがたいことだと感謝しながら利用させてもらっている。

（新型コロナウイルス感染症の対応による）休館中も（臨時窓口である）テントで予約本の貸出サービスを続けてくれたのがすごくありがたかった。家で過ごすしか他なかったが、図書館の本があったおかげで、すごく温かい時間を過ごすことができた。

委員：学校に勤務しているが、子どもたちが月に1度の移動図書館を大変楽しみにしている。とても良いシステムだと思う。学校以外での利用はどのくらいあるのか。

事務局：（現在の運行は12コース、54ステーション）場所にもよるが、施設でなくても、多いところだと1ステーションで10名以上の方が利用される。1ヶ所での貸出冊数が100冊を超える場合もある。逆に1～2名の利用になる場合もある。

委員：令和元年度について、登録者が増えているが、利用者数は少し落ちている。登録は毎年ではなく積み上げとなる影響か。

事務局：委員のおっしゃるとおり、登録者数は3年更新であるため、3年間の積み上げの数字となっている。ただ、利用者数については、令和元年度に比べやや減少している。

委員：新型コロナウイルス感染症の影響か。

事務局：特に影響を感じるのは3月以降。それ以前は暖冬の影響もあり、利用者は例年に比べ増加していた。

（2）新型コロナウイルス感染症対策について

意見等なし

（3）令和2年度事業実施状況（上半期）について

議長：各団体の活動状況はどうか。

委員：読み聞かせについて、こどもとしょかんで実施していたものについては中止となっている。団体の活動としては、高齢者・障がい者福祉関係は、施設側の方針で中止しているが、小学校とコミュニティセンターについては継続している。

委員：朗読サークルの活動については、これまで定期的に12校に行っていたが、現在は2校に減っている。この他、放送での実施を希望している学校もある。

委員：図書館主催の「古文書講座」を受講している方のご意見を伺うと、教える方が限られており、貴重な機会であるため、講座・受講者数についてはできるだけ現状維持またはプラスアルファでお願いしたいという前向きな意見が多い。「図書館を使った調べる学習コンクール」についても、素晴らしい作品が多く、全国で入賞した児童もいると聞いている。今後も間口を広げ、意識を向上させていってほしい。

委員：「赤ちゃんおはなし会」について、マスクやフェイスシールド等の使用状況は？

事務局：参加者を3組までに限定し、ビニールシートによる間仕切りを設置した上で、マスクを着用して開催している。マスクの場合、口元の動きが見えないという問題もあり、検討・改良の余地はあると考えている。

委員：新型コロナウイルス感染症対策の一環として、入館者の名簿の作成はしているのか。

事務局：個人情報等の関係もあり、会津図書館では名簿の作成は行っていない。

その代わりに、非接触型の体温計や手指の消毒、マスク着用のご協力をいただいている。職員も感染予防として、テーブルや検索機等、館内の消毒に取り組んでいる。

委員： ボランティア活動に関しての対策はどのようにしているのか。

事務局： 事前にご本人のご意向を確認したうえでの活動となっている。そのうえで、先にお話しした感染症対策と、体調の確認、検温、消毒を徹底している。

(4) 第二次子ども読書活動推進計画 令和2年度活動計画

委員： (図書館に限らず) コロナ禍によって事業が後半に移ってきていて、運営側としては全体のバランスをとるのが大変だと思う。

また、考え方として、図書館の利用と、図書(の貸出)のどちらに重点を置くのかと。図書館の利用拡大と図書の貸出の拡大を図る一方でクラスターの発生は避けなければならないということで、今後の活動については本当に大変だと感じる。

委員： 高校側としては、情報提供いただければ、少なくとも市内5校の協力は取り付けることが出来る。

事務局： よろしく願いたい。

委員： 小・中学校では、ここに記載してある、家読(うちどく)、図書館環境整備、朝読(あさどく)、メディアコントロール等の取組をしている。学校図書館支援員、ボランティアの方、会津図書館奉仕員の巡回訪問などにおいていただいて、環境の充実に協力していただいております、学校としては非常に助かっている。

また、公民館の協力もいただき、読み聞かせや語り部も行っている。一時期新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、現在はほぼ計画的に進んでいると思う。

読書については、結構(児童の)読書量が少ないという問題もある。SNSとの関係、どうしてもメディアとの関わりの時間が多くなっているという問題もある。学校の中では結構本を読む機会を作っているが、家でなかなか活字を読むというところに戻れない。これは、学校現場でも大きな課題だと捉えている。

おうちの方もできれば本を読ませたいと思っているのが、子どもたちはなかなか本を読んでくれない。学校としてはその辺りをもう少し工夫していきたい。

委員： 先程ボランティアの派遣の意見があったので、参考までに。私のところでは毎朝の検温のほか、他の地域の方と接触した場合や他地域に出かけた場合は報告を求めている。その他、ボランティアの派遣に当たっては、2週間前から検温を必ずお願いしている。また、派遣後2週間は、体調確認を確認し、アフターフォローも含め、1か月間の体調管理を徹底している。万一、異常があった場合も職場内で対応できる体制を取っている。

委員： 今は県外移動の規制もなくなってしまったので、ボランティアさんにきていただくにしても難しいと感じる。ある程度の体制は取っておかなければならないし。

(5) 第三次子ども読書活動推進計画について

委員： 市民懇談会に参加し、(計画の)表紙を見たときに「あいづっこ」と書いてあったのが、まず良いなと思った。

日頃、4歳から中学生までの読み聞かせにも関わっているが、子どもの読む力が上がってくる(時期)というのは本当に一人ひとり違う。長い目で子ども一人ひとりに合わせた計画活動をしていくことが大切だと思う。子どもの環境を整えるのは大人の役割であり、草の根的に少しずつでも広がっていけばいいよね、とボランティアの方とも良く話している。

あと、読まない、というのは大人はすごく問題だということかもしれないが、読まなくても全然困っていない子どもも実際にいる。でも、読まなくてはいけない時が必ず来ると思うので、そういうときに環境が整っていたり、わからなくなったら助けてくれる司書さんがいたり、おうちの人がいるというのがとても大事だと思う。

委員： 私も市民懇談会に参加して、表紙の言葉、とくにサブタイトルのところがすごく素敵だなと思ったのと、1ページと2ページの「あいづっこのみなさんへ」と「あいづっこを見守る大人のみなさんへ」というのは、前回の計画にはない部分で、これをぜひ子どもや市民のみなさんへ広く知っていただきたいと思う。計画書なので手に取る方々は限られていると思うが、そういった意味でも読書計画というものがあって、市が動いているということを知っていただくことが大事だと思う。

委員： 私も小さな子どもがいるので、なるべく読み聞かせをしたいと思った。

それから、他委員さんもおっしゃったように、計画の1ページ・2ページ目をぜひ市政だよりなどに入れていただくなどして、ぜひみなさんに知っていただきたいなと思った。

委員： 会津図書館と共催で「外国語のおはなしのへや」を実施しているが、回数を重ねるごとに低年齢化していて、幼稚園や小学校1・2年生がすごく多く参加する。なので、幼稚園・保育所・認定こども園などでも、ぜひ子どもたちが自由に自分で本を手にとれるような環境づくりを進めたいと、今日この会議に参加して思った。
(本日の議題はすべて了承)

4 その他

委員： 図書館のイベントや展示に関して、今子どもたちに大人気のアニメなどに関連した企画・展示などをするなど、子どもの発想も取り入れるような形も良いのではないかと。著作権の問題もあるかもしれないが、本を手にとってもらえるように。

5 閉会